けやき

学校便り・10月号
小林市立西小林小学校
令和三年十月二十一日（文責・唐澤）

二学期が始まりました。

十月八日(金)は、一学期の終業式でした。一学期頑張ったことを二年生の中西絢子さん(写真右)と、五年生の八重尾神愛さん(写真左)が元気よく発表してくれました。

また、十月十三日(水)は、二学期の始業の日でした。あっという間の秋休みでした。子どもたちは元気に登校し、大きな声であいさつをすることができました。始業式では、三年生の野﨑優人さんが二学期の目標、将来の夢を発表してくれました。

新型コロナウイルス感染症が少し落ち着いてきました。この時期を利用して、子どもたちに今までできなかった体験活動をたくさん取り組ませてあげたいと思っています。二学期もよろしくお願いします。

新しい清掃班が決まりました。

新型コロナウイルス感染症拡大で、延期にしていました新しい清掃班の編制が行われました。西小林小は、１年から６年生が混合した縦割り班での清掃に取り組んでいます。清掃の仕方を上級生がやさしく教えてくれます。このように伝統は受け継がれていきます。思いやりの心も育っていくと思っています。

第6学年の修学旅行は予定通り、鹿児島県に行きます。

１０月７日(木)に修学旅行保護者説明会を実施しました。新型コロナウイルス感染症拡大のため、これまで参観日が実施できない状況でしたので、やっと保護者への説明の場をもつことができました。

修学旅行の目的地については、鹿児島県と宮崎県の両方の計画案で進めてきました。西小林小学校の修学旅行は、幸ケ丘小学校と合同で、１１月４日～５日を予定していましたので、８月下旬までには決定をしなければなりませんでした。その理由は、宿泊地とバス代などのキャンセル料金が発生するからです。鹿児島県を決定するまでには、幸ケ丘小学校と西小林小学校の担当先生方で悩みに悩みました。新型コロナウィルス感染症拡大の情報をもとに、毎日検討してきました。新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の状況が全国的に若年層まで広がること、緊急事態宣言の効果が出始めてきたことなどを判断し、予定通りの日程で、目的地は鹿児島県として修学旅行の実施を学校として決定しました。そして、ようやく保護者の皆様に説明し、理解していただく場を設定することができました。保護者説明会は、幸ケ丘小学校の関係者、旅行会社の方なども交えて行いました。６年生の子どもたちに、この修学旅行が小学校最大の思い出となるように当日まで、しっかりと細心の配慮をしながら進めていきます。

シェフの食育教室

十月十五日(金)、第六学年は、給食時間に「シェフの食育教室」を実施しました。小林市役所総合政策部地方創生課の事業で、「ここやっど小林」のシェフ、地井　潤さんのお弁当を食べながら、リモートで、地井　潤さんと会話しながら、「小林市産の食材」「人」「健康」について学ぶことができました。

「読書の秋」本を読みましょう。

秋は勉学にもスポーツにも、何をするにも気候的にちょうどよい時期です。この時期を利用して、親子で読書をするのはいかがでしょうか。

読書は集中力を養います。落ち着いて行動する態度も培われます。学ぶ力も身に付きます。

写真は、「ゆめいろ文庫」の方々と図書委員です。いつも、読み聞かせに来ていただいています。是非、おうちでも、親子読書をよろしくお願いします。

＜裏面もご覧ください。＞